

- 須崎市は約30年間で人口が約2/3に減少するなど人口減少対策や地域産業の振興が急務
- 道の駅に移住相談や田舎暮らし体験ツアーの窓口を設置、空家情報・就労情報の提供を実施し都市部からの移住を促進
- 高速道路に直結した道の駅をまち全域や高幡地域(奥四万十)の観光総合窓口として多言語化に対応した観光案内所の設置や免税店の設置など案内機能を充実
- 地域防災計画への位置づけも視野にいれ、津波避難タワー等を新設し地域の防災拠点として防災機能を強化

<地方創生拠点としての機能>  
地域センター型

産業振興 地域ブランドの情報発信	防災 震災伝承・津波防災文化	観光総合窓口 高幡地域のゲートウェイ	地方移住等促進 都市部などからの移住定住を促進
---------------------	-------------------	-----------------------	----------------------------

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
かわうその里すさき	高知県	須崎市	国道56号	既設	平成10年	一体型

◆移住支援

- ・空き家情報や就労情報の提供
- ・田舎暮らし体験ツアー

◆ふるさと納税の情報提供



須崎市への移住を促すポスター

◆周辺施設の観光案内機能を充実

- ・外国人用観光センター
  - ・免税店の併設
  - ・無線LAN、EV充電器
- ◆直売所の充実
- ・新たな水産系直売所の増設



須崎市で地域ブランドとして売り出しているメジカやウツボ

◆道の駅を地域の防災拠点化

- ・津波避難タワーを設置
- ・自家発電用太陽光発電導入
- ・非常食・毛布等の備蓄
- ※地域防災計画への位置づけを検討中



津波避難タワー(イメージ)



津波避難タワーの新設イメージ  
※新築変更の可能性あり



防災パネル展の開催状況

<提案の先駆性・ポイント>

- 道の駅を窓口として地域の空き家情報や就労情報、ふるさと納税情報を提供し地域の人口減少対策として活用。
- 高速道路に直結した道の駅としてまち全域や高幡地域(奥四万十)への観光情報を一体的に提供し域内への周遊を促す。
- 立地条件を生かし、地域ブランドとして任期があるメジカ・ウツボを近隣の港から直送し販売、新たな流通販路を開拓
- 道の駅に津波避難タワーを併設するなど防災機能を強化

<実施内容>

- 移住支援窓口として移住相談や田舎暮らし体験ツアーの窓口を設置し、空き屋情報や・労情報を提供
- 地域の観光窓口として観光コンシェルジュを設置し、無線LANやEV充電設備も設置、地元須崎港で水揚げされる水産物を扱う直売所を新たに設置
- 地域の防災拠点施設として津波避難タワー等を新設